

まず、コクランレビューの執筆に関しては、「Cognitive-behavioural treatment for amphetamine-type stimulants (ATS) use disorders」（アンフェタミン・タイプ刺激剤使用障害に対する認知行動療法）というタイトルで、コクラン薬物・アルコールグループにタイトル登録、プロトコルの執筆を行った。

タイトル登録は、平成25年2月に完了し、プロトコルは同年5月に提出した。さらに、キャンベル共同計画への同時登録の許可も双方から得た。

プロトコルについては、同年10月にコクラン・ライブラリーにおいて公表された。今後は、プロトコルにしたがってレビュー本体の執筆を行う。

キャンベル共同計画の翻訳については、既に英語で発表されている教育、刑事司法、社会福祉分野等のレビュー本体、および抄録の翻訳を実施した。また、既存のウェブサイトの見直しと整備を行った。

さらに、社会科学分野におけるエビデンス・ベーストの重要性について広く啓蒙するための学会発表や論文執筆を行った。

D. 考察

社会科学分野においては、まだまだエビデンス・ベーストというコンセプトが十分に浸透していない⁽¹⁾。特に、我が国においてはその傾向が顕著である⁽²⁾。

しかし、どのような政策においても、ただ漫然とした「効果」をア priori に信じて実施するのではなく、そこに厳密な科学的根拠があるのかどうかを吟味して実施することが、説明責任を果たす上でも、今後より一層重要になってくる。

そのためには、まず地道な啓発や教育活動を通じての意識改革が何より重要であるし、さらには質の高いエビデンスに容易にアクセスできるような基盤作りが大切である。本研究では、そのようなソフト、ハード両面に及

ぶ取り組みの基礎を構築するための一助になったと考えられる。

E. 結論

エビデンスに基づく母子保健のための意思決定には、医療分野のみならず、社会科学分野での基盤整備や情報発信が欠かせない。わが国の社会科学分野において、このような取り組みはまだ始まったばかりであるが、今後コクランレビューやキャンベルレビューの執筆、情報発信、啓発活動など、さらには医療分野との連携等を継続的に実施していくことが必要である。

引用文献・出典

- 1) Torgerson DJ & Torgerson CJ. Designing Randomised Trials in Health, Education and the Social Science: An Introduction. Palgrave Macmillan, 2008.
- 2) 原田隆之・津谷喜一郎. シリーズ「医療の近接領域および社会科学における EBP の動向」連載開始にあたって. 正しい治療と薬の情報 27(5), 61-61, 2012.

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Harada T, Tsutomi H, Mori R, Wilson DB. Cognitive-behavioural treatment for amphetamine-type stimulants (ATS) use disorders. Cochrane Database of Systematic Reviews 2014, Issue 9. Published Online: 7 OCT 2014, DOI: 10.1002/14651858.CD011315
- 2) 原田隆之, 山村桂子, 小柴梓, 大石裕代, 大石雅之. アルコール依存症に対する認知行動療法が飲酒アウトカムに及ぼす効果の研究. 日本アルコール・薬物医学会雑誌 2014; 49(5): 249-258.
- 3) 原田隆之. 臨床家として自らを検証する: 嗜癖・アクティングアウト系③ 神村栄一編. 認知行動療法実践レッスン: エキスパ

- ートに学ぶ 12 の極意 2014; 131-143.
金剛出版
- 4) 原田隆之 性犯罪治療の国際的動向 榎本稔編 性依存症の治療 2014; 41-52.
金剛出版
- 5) 原田隆之 認知行動療法・禁煙ワークブック: Re-Fresh プログラム 2014 金剛出版
- 6) 原田隆之・笹川智子・高橋稔 大学生の禁煙支持要因の検討 日本禁煙学会雑誌 2014; 9(2): 22-28
2. 学会発表
- 1) 原田隆之 性的嗜癖行動の理解と治療. 日本精神神経学会. 2014年6月27日, 横浜.
- 2) 原田隆之 「性依存症」治療の現在と未来. 日本「性とこころ」関連問題学会. 2014年6月28日, 東京.
- 3) 北條正順・原田隆之・野村和孝・嶋田洋徳・斉藤章佳・林開・榎本稔・深間内文彦. Static-99 日本語版を用いた性犯罪者・性依存症者のリスクアセスメント. 日本「性とこころ」関連問題学会. 2014年6月28日, 東京.
- 4) Harada T., Nomura K, & Oishi M. Sex Offender Treatment in the Community Setting. Annual Conference of the European Society of Criminology. 2014年9月11日, プラハ (チェコ)
- 5) 原田隆之 エビデンスに基づいたアディクション治療 (教育講演) 日本アルコール関連問題学会. 2014年10月3日, 横浜.
- 6) 山村桂子・原田隆之・小柴梓・大石裕代・大石雅之 アルコール依存症に対する認知行動療法が飲酒アウトカムに及ぼす効果の検討 (第二報). 日本アルコール・薬物医学会. 2014年10月3日, 横浜.
- 7) Harada T. & Takemura M. Behavior Addictions: Advancing Understanding and Treatment Strategies Across a Wide Range of Disorders. International Society of Addiction Medicine Annual Meeting. 2014年10月6日, 横浜.
- 8) Harada T, Yamamura K, Koshiba A, Oishi H, & Oishi M. The Efficacy of Cognitive-Behavioral Therapy for Japanese Alcoholic Patients. Global Addiction Conference 2014. 2014年11月11日, リオデジャネイロ (ブラジル).

平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金
(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 (健やか次世代育成総合研究事業))
「母子保健に関する国際的動向及び情報発信に関する研究」分担研究報告書

日本コクランブランチ設立と人材育成

研究分担者 大田 えりか (成育医療研究センター研究所 室長)

研究要旨

本分担班では、3つの活動を行っている。まず第一に、母子保健分野に関する科学的根拠を定期的に国内外に情報発信する基盤整備を目的とし、コクラン系統的レビューを出版するためのセミナー、ワークショップ、講演、講義などを開催し、人材育成、啓蒙活動を行った。第二に、コクラン系統的レビューの出版である。本年度は、妊娠出産グループサテライトからコクラン系統的レビューが9論文、コクランプロトコールが8論文の計17本出版され、新しいタイトルも5本登録することができ、基盤整備の成果がでてきている。第三に、正式なコクラン日本支部として活動をはじめ、プレスリリースを行った。国際共同研究としては、WHOの妊娠期感染症のガイドライン作成を行っている。

研究協力者

エマ・バーバラ	成育
シャルーク・サデクア	成育
佐々木八十子	成育

A. 研究目的

網羅的・系統的に集積した科学的根拠の成果は医療文化や経済的背景による科学的根拠を含めて整理されるため、国内外の母子保健・医療へレビューの結果が利用され、我が国の保健医療研究による国際社会への貢献としても大きな波及効果があると考えられる。母子保健分野に関する科学的根拠を定期的に国内外に情報発信する基盤整備のための、コクラン共同計画の啓蒙活動の実施、およびコクラン系統的レビュー出版を通じた人材育成を目的とした。

B. 研究方法

本分担班は、大田が担当し、研究協力者としてエディティング専門家のエマ・バーバラ (成育)、研究員のシャルーク・サデクア、佐々木八十子がコクランレビュー出版の支援を行う。

【研究1】

コクラン系統的レビューを出版するためのセミナー、ワークショップ、講演、講義などを開催し、人材育成、啓蒙活動を行う。

【研究2】

コクラン系統的レビューのプロトコールおよびフルレビューの著者のサポートを行い、出版する。

【研究3】

コクラン豪州センターと密接に連携し、コクラン日本支部を設立した。また、WHOのリプロダクティブヘルスリサーチと連携しWHOの妊娠期感染症のガイドライン関連の20のコクラン系統的レビューのupdateを行った。

(倫理面への配慮)

特になし。

C. 研究結果

【研究1】

本年度は、コクラン日本支部を設立し、プレスリリースを行った(参考資料1)。

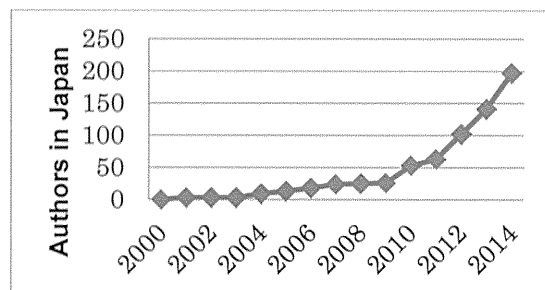
5月にコクランのCEOであるマークウィルソンが来日し、厚生労働省にて記者会見を行った。



また、成育にてコクランのワークショップを3回（タイトルレジストレーション6月、プロトコール9月、フルレビュー2月）実施した。（参考資料2、参加者アンケート参照）。また国立精神神経センターと、国立がんセンターと国立成育医療研究センターと3ナショセン合同で、昨年度に引き続き12月に第二回メタアナリシス入門講座を実施した。成育医療研究センターのセミナー、東京大学大学院、東京医科歯科大学大学院、大分県立看護大学にて系統的レビュー作成およびコクラン共同計画に関する講義を行いワークショップ等を含めてのべ300名以上が参加した。また助産学雑誌に、日本語でコクラン系統的レビューの解説特集の連載を1年間行い啓蒙活動を行った。

日本からのコクラン共同計画の著者数は、2015年2月でおよそ200名となり順調に増加している（表1）。日本からのコクラン Archie 登録者数は300名となった。

表1 日本からのコクラン著者数



【研究2】

本年度は、研究班全体でコクランプロトコールが9本、コクラン系統的レビューが8本出版された。以下、結果のサマリーを記載する。

- ・ 妊娠中の予防的抗生剤の内服は、周産期アウトカムに関連するかどうかのコクラン系統的レビュー、早産や早産の前期破水は減少しなかったが、産後の子宮内膜炎や早産の早期破水、gonococcal感染症のリスクは減少した。
- ・ 帝王切開後の感染症を予防するための皮膚の消毒で効果があるものはなにかをコクラン系統的レビューで明らかにした。
- ・ コミュニティーレベルのHIV予防行動変容介入は、HIV発症に効果はなかったが、一部のSTIには効果があった。
- ・ 陣痛発来に、催眠介入が有効かどうかを検証したコクラン系統的レビュー、含まれる臨床試験が今回はなかった。
- ・ 妊娠中の女性への亜鉛サプリメント介入は、早産を比較群に比べて14%減らす効果がみられた。

【研究3】

コクラン日本支部を設立し活動を開始した。国際共同研究としては、WHOの妊娠期の感染症のガイドライン作成のためのコクランレビューを7月から3か月イギリスの妊娠出産グループに行き、関連する20論文 update しすべて出版された。また、1月16日付けで、コクラン妊娠出産グループの associate editor に就

任した。3月16・17日にリバプールでコクラン妊娠出産グループのエディターズミーティングがあり、コクランの新しい報告方法や、解析手法などの講義や会議に参加する予定である。

D. 考察

本年度は、コクラン日本支部のプレスリリースをはじめとして、ワークショップ、講演、講義などでコクラン共同計画の認知度を高め、系統的レビューの方法論を多くの参加者に伝えることができた。ワークショップの開催も、コクラン系統的レビューの著者が増加し、チューターや講師として参加し協力を得ることができている。コクラン系統的レビューは、著者の増加に伴い、順調に出版数を増加させている。

コクラン日本支部の活動が開始し、WHOとの共同研究も順調に進んでいる。人材育成の基盤を強化して、質を重視し地道な活動を重ねて実績を積むことが必要である。日本からの貢献度をさらにあげていくことが重要である。

E. 結論

コクラン日本支部開始のプレスリリースを行い、認知度を高めることができた。今後もさらに人材育成の基盤を強化して、質を重視し地道な活動を重ねて実績を積み世界に貢献していくことが必要である。

F. 研究発表

1. 原著論文

- 1) Mackeen AD, Packard RE, Ota E, Berghella V, Baxter JK. Timing of intravenous prophylactic antibiotics for preventing postpartum infectious morbidity in women undergoing cesarean delivery. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2014, Issue 12. Art. No.: CD009516. DOI: 10.1002/14651858.CD009516.pub2.

- 2) Hadiati DR, Hakimi M, Nurdianti DS, Ota E. Skin preparation for preventing infection following caesarean section. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2014, Issue 9. Art. No.: CD007462. DOI: 10.1002/14651858.CD007462.pub3.
- 3) Nishi D, Shirakawa MN, Ota E, Hanada N, Mori R. Hypnosis for induction of labour. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2014, Issue 8. Art. No.: CD010852. DOI: 10.1002/14651858.CD010852.pub2.
- 4) Moreno R, Nababan HY, Ota E, Wariki WMV, Ezoe S, Gilmour S, Shibuya K. Structural and community-level interventions for increasing condom use to prevent the transmission of HIV and other sexually transmitted infections. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2014, Issue 7. Art. No.: CD003363. DOI: 10.1002/14651858.CD003363.pub3.
- 5) Shahrook S, Mori R, Ochirbat T, Gomi H. Strategies of testing for syphilis during pregnancy. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2014, Issue 10. Art. No.: CD010385. DOI: 10.1002/14651858.CD010385.pub2.
- 6) Mackeen AD, Packard RE, Ota E, Speer L. Antibiotic regimens for postpartum endometritis. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2015, Issue 2. Art. No.: CD001067. DOI: 10.1002/14651858.CD001067.pub3.
- 7) Ota E, Mori R, Middleton P, Tobe-Gai R, Mahomed K, Miyazaki C, Bhutta ZA. Zinc supplementation for improving pregnancy and infant outcome. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2015, Issue 2. Art. No.: CD000230. DOI: 10.1002/14651858.CD000230.pub5.
- 8) Thinkhamrop J, Hofmeyr GJ, Adetoro O, Lumbiganon P, Ota E. Antibiotic prophylaxis during the second and third trimester to reduce adverse pregnancy outcomes and morbidity. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2015, Issue 1. Art. No.: CD002250. DOI: 10.1002/14651858.CD002250.pub2.
- 9) Moriichi A, Tomita N, Sado M, Ota E, Mori R. Interventions for insomnia during pregnancy (Protocol). *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2014,

- Issue 10. Art. No.: CD011355. DOI: 10.1002/14651858.CD011355.
- 10) Mazda Y, Ota E, Mori R, Terui K. Drugs for general anaesthesia for caesarean section (Protocol). Cochrane Database of Systematic Reviews 2014, Issue 10. Art. No.: CD011348. DOI: 10.1002/14651858.CD011348.
 - 11) Haruna M, Matsuzaki M, Ota E, Shiraishi M, Hanada N, Mori R. Guided imagery for treating hypertension in pregnancy (Protocol). Cochrane Database of Systematic Reviews 2014, Issue 10. Art. No.: CD011337. DOI: 10.1002/14651858.CD011337.
 - 12) Wariki WMV, Goto Y, Ota E, Mori R. Cyclo-oxygenase (COX) inhibitors for threatened miscarriage (Protocol). Cochrane Database of Systematic Reviews 2014, Issue 9. Art. No.: CD011310. DOI: 10.1002/14651858.CD011310.
 - 13) Harada T, Tsutomu H, Mori R, Wilson DB. Cognitive-behavioural treatment for amphetamine-type stimulants (ATS) use disorders (Protocol). Cochrane Database of Systematic Reviews 2014, Issue 10. Art. No.: CD011315. DOI: 10.1002/14651858.CD011315.
 - 14) Shahrook S, Hanada N, Sawada K, Ota E, Mori R. Vitamin K supplementation during pregnancy for improving outcomes (Protocol). Cochrane Database of Systematic Reviews 2014, Issue 1. Art. No.: CD010920. DOI: 10.1002/14651858.CD010920.
 - 15) Futamura M, Ferguson L, Vakirlis E, Kojima R, Roberts A, Mori R. Leukotriene receptor antagonists for atopic eczema (Protocol). Cochrane Database of Systematic Reviews 2014, Issue 7. Art. No.: CD011224. DOI: 10.1002/14651858.CD011224.
 - 16) Hanada N, Matsuzaki M, Ota E, Mori R. Psychosocial and educational interventions in latent phase or early labour for improving birth outcomes (Protocol). Cochrane Database of Systematic Reviews 2015, Issue 2. Art. No.: CD011516. DOI: 10.1002/14651858.CD011516.
 - 17) Michihata N, Yamamoto KH, Mukaigawara M, Miyairi I, Mori R. Group B streptococcus immunisation during pregnancy for improving outcomes (Protocol). Cochrane Database of Systematic Reviews 2015, Issue 1. Art. No.: CD011496. DOI: 10.1002/14651858.CD011496.
2. 総説
- 1) コクランレビューに学ぶ 助産ケアのエビデンス [2] 分娩時の女性への継続的サポートはどんな効果があるの? 助産雑誌, 68(2): 158-161.
 - 2) コクランレビューに学ぶ 助産ケアのエビデンス [3] 助産師による継続ケアって、助産師以外のケアモデルと比べてどんな効果があるの? 助産雑誌, 68(3): 248-251.
 - 3) コクランレビューに学ぶ 助産ケアのエビデンス [4] 正期産の新生児では、臍帯結紮するタイミングで母子のアウトカムに違いが出るか? 助産雑誌, 68(4): 342-345.
 - 4) コクランレビューに学ぶ 助産ケアのエビデンス [5] 分娩時の連続的な胎児心拍数陣痛計 (CTG) によるモニタリングと、陣痛間歇時の児心音聴取で、母子のアウトカムに違いが出るか? 助産雑誌, 68(5): 458-461.
 - 5) 助産ケアのエビデンス [6] 陣痛の緩和にはどの介入が効果があるのか? 助産雑誌, 68(6): 550-553.
 - 6) コクランレビューに学ぶ 娩誘発では、アウトカムに違いが出るか? 助産雑誌, 68(7): 626-629.
 - 7) コクランレビューに学ぶ 助産ケアのエビデンス [8] 早産の前期破水時の抗生剤内服は、どのような影響や効果があるか? 助産雑誌, 68(8): 750-753.
 - 8) コクランレビューに学ぶ 助産ケアのエビデンス [9] マンモグラフィによる乳がんスクリーニングは、乳がんの死亡率を下げるのに有効か? 助産雑誌, 68(9): 832-835.
 - 9) コクランレビューに学ぶ 助産ケアのエビデンス [10] 産後のダイエットに有効なのは食事または運動、それとも両方? 助産雑誌, 68(10).
 - 10) 臨床研究のメタ解析とその落とし穴. 臨床精神医学 2014; 43 (12) : 1755-1761.
 - 11) 妊娠中から産後 6 ヶ月までの電話サポートによるケアは効果があるのか? 助産雑誌. 2014; 68 (12) : 1347-81682.
3. 学会発表
- 1) Ota E, Yoneoka D. Evaluating abstracts to predict low risk-of-bias RCTs using a natural language processing approach. Poster presentation. Twenty-second

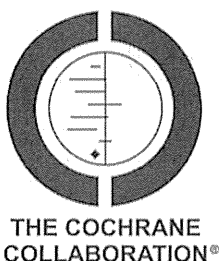
Cochrane colloquium, Hyderabad
India, 25 September 2014.

- 2) Rahman MM, Abe SK, Rahman MS,
Kanda M, Narita S, Ota E et al.
Maternal anaemia and risk of
adverse birth and health outcomes:
systematic review and
meta-analysis. Poster presentation.

Twenty-second Cochrane
colloquium, Hyderabad India, 26
September 2014.

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし



<本件に関する連絡先>

独立行政法人国立成育医療研究センター
電話: 03-3416-0181 (代表)
取材に関すること: 佐藤 徹 (サトウ トオル)
総務部総務課専門職(広報係)
(内線 7783) Email: sato-tr@ncchd.go.jp
コクラン日本支部に関すること: 森 臨太郎(モリ リンタロウ)
<所属名> 政策科学部 部長
(内線 4264) Email: mori-r@ncchd.go.jp

平成 26 年 5 月 30 日

報道関係者 各位

独立行政法人国立成育医療研究センター

コクラン日本支部 国立成育医療研究センターに設立

国内初のコクラン日本支部がスタートします。
日本支部は、コクラン系統的レビュー作成のサポートおよびトレーニングを提供します。
日本の医療や政策に科学的根拠に基づいた意思決定を促進します。

本プレスリリースのポイント

- 日本でのコクラン系統的レビュー出版・著者へのトレーニングの功績が認められ、平成 26 年 2 月末日にコクラン共同計画豪州コクランセンターから正式な日本支部として国内で初めて認可されました。
- 5月30日の記者会見に、コクラン共同計画の CEO の Mark Wilson がイギリスから来日する予定です。
- 国立成育医療研究センター研究所政策科学部部長森臨太郎と京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻教授古川壽亮と豪州コクランセンター日本支部の共同代表を務めます。事務局は、国立成育医療研究センター一研究所に置き、医療政策科学研究室長大田えりかが事務局長を務めます。
- 日本支部では、コクラン系統的レビュー作成のサポートおよびトレーニングを提供し、日本の医療や政策の科学的根拠に基づいた意思決定を促進します。

【コクラン日本支部ができるメリット】

- 1) 根拠に基づく医療の浸透による診療の質向上、それによる患者アウトカムの向上
- 2) 医療者と患者双方に、よりバランスの取れた確かな情報の提供と共有による関係性の向上
- 3) 臨床研究の推進(手法も利益の相反も含めて質の向上)

【コクラン日本支部の主な活動】

成育医療センターに平成 25 年 6 月日本で初めてのコクラン妊娠出産グループ日本支部が、日本で唯一コクラン共同計画の正式組織として設立し、以降の成果に高い評価を得ています。

日本支部は、日本におけるコクラン共同計画を推進し、サポートすることを目指しています。

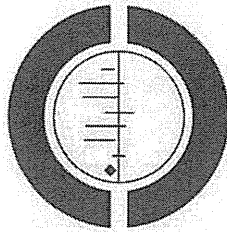
以下の5つの活動を主に行います。

- 1) コクラン系統的レビューの新規の著者を増やす。
- 2) コクラン系統的レビューのトレーニング・ワークショップを実施する。
- 3) コクラン系統的レビュー出版のためのサポートを行う。
- 4) 日本におけるコクランライブラリの利用を促進する。
- 5) コクラン系統的レビューのサマリーの翻訳を推進する。(コクランレビューの翻訳に関しては、日本医療機能評価機構医療情報サービスMindsが長く行っており、日本支部は日本医療機能評価機構と連携して、日本におけるレビューの浸透を推進していく予定です。)

【コクラン共同計画とは】

コクラン共同計画は1992年にオックスフォードで設立された国際的な非営利団体であり、研究者、医療従事者、医療消費者、介護者、アドボカシー運動の支援者、保健医療に関心のある人々の独立した世界的なネットワークである。コクラン共同計画によって、系統的レビューと呼ばれる、同じ研究課題に関して検討した研究を網羅的・系統的に検索しその結果を質に応じて吟味したうえで必要に応じて統計学的な統合を行う手法が確立された。コクランは、研究を通して得られた膨大な量のエビデンスを、医療に関する意思決定に役立てるという課題に応じている。コクランは、企業からの資金提供やその他の利害関係のない、信頼性の高い、アクセス可能な医療保健情報を生み出している。現在 52 の分野で行われ、コクランレビューの結果を診療方針に応用していくことが根拠に基づく医療の同義語ともなるくらい浸透し、医療分野における十大発明の一つまで言われている。現在に至るまで 120 か国以上の研究者・医療者が参加し、5000 以上に上るレビューが作成され、世界保健機関(WHO)をはじめ世界中の保健医療分野に影響している。

ホームページ: www.cochrane.org5 ツイッター: @cochranecollab



THE JAPANESE
COCHRANE BRANCH

The Japanese Cochrane Branch

成育医療センター主催
記者会見のご案内

記

日時：2014年5月30日（金） 午後2時～

場所：9F 記者会見室

内容：日本初の豪州コクランセンター日本支部がスタートします。
コクラン共同計画のCEOのMark Wilsonが来日します。
（詳細は当日配布しますプレスリリースをご参照ください）



Official launch of the Japanese Cochrane Branch

2014年5月30日（金）午後2時～

厚生労働省 9F 記者会見室

- 14:00～ コクラン共同計画 CEO Mark Wilson
- 14:10～ 成育医療研究センター社会・臨床研究所 所長 吉川徳茂
- 14:15～ コクラン日本支部共同代表 成育医療センター研究所 部長 森臨太郎
- 14:20～ 医療者、研究者、医療消費者の代表の方のコメント
- 14:25～ 質疑応答

【コクラン共同計画とは】

コクラン共同計画は1992年にオックスフォードで設立された国際的な非営利団体であり、研究者、医療従事者、医療消費者、介護者、アドボカシー運動の支援者、保健医療に関心のある人々の独立した世界的なネットワークである。コクラン共同計画によって、系統的レビューと呼ばれる、同じ研究課題に関して検討した研究を網羅的・系統的に検索しその結果を質に応じて吟味したうえで必要に応じて統計学的な統合を行う手法が確立された。コクランは、研究を通して得られた膨大な量のエビデンスを、医療に関する意思決定に役立てるという課題に答えている。コクランは、企業からの資金提供やその他の利害関係のない、信頼性の高い、アクセス可能な保健医療情報を生み出している。

www.cochrane.org

Twitter @cochranecollab

【アンケート】コクラン日本支部 タイトル登録セミナー

ワークショップへご参加いただきありがとうございます。皆様のお声を反映させ、今後のより良いワークショップの運営に努めてまいりたいと考えております。ぜひとも下記のアンケートにご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

*必須

今回のセミナーはいかがでしたか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

役に立ちましたか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

講師の説明の速さはいかがでしたか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

内容はわかり易かったですか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

配布された資料はわかり易かったですか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

良く準備されていたと思いますか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

総体的にご満足いただけましたか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

今後コクラン系統的レビューの著者として参加を希望されますか？ *

- はい
- いいえ

どのような分野、またはタイトルを希望していますか？


今後の改善点についてご意見を聞かせてください。*

(告知方法、事前のご案内、プログラム、配布資料、会場のセッティング、音響など)

その他、ご希望やご質問などありましたら教えてください。

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

Powered by
 Google Forms

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

[不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [追加規約](#)

タイムスタンプ	今回のセミナーはいかがでしたか？	役に立ちましたか？	講師の説明の速さはいかがでしたか？	内容はわかり易かったですか？	配布された資料はわかり易かったですか？	良く準備されていたと思いますか？	総体的にご満足いただけましたか？	今後コクラン系統的レビューの著者として参加を希望されますか？	どのような分野、またはタイトルを希望していますか？	今後の改善点についてご意見を聞かせてください。	その他、ご希望や質問などありましたら教えてください。
2014/6/20 9:34	良い	良い	良い	ふつう	良い	ふつう	良い	いいえ		少し寒かった。	
2014/6/20 9:37	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	Hepatobiliary diseasesに関心があります。	特にありません。	よろしくお願いたします。
2014/6/20 9:53	ふつう	良い	良い	ふつう	ふつう	ふつう	ふつう	はい		特に問題ないが遠方から来ている人のことを考慮するともう少し中身を濃いものにした方がよい	
2014/6/20 10:11	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	森先生の総論と大田先生の具体的な内容のお話で、資料もとても分かりやすかったです。私自身はとても満足でした。(告知方法については、直接大田先生より教えていただいたので、申し上げられる意見がありません・・・すみません)		
2014/6/20 10:26	良い	良い	良い	良い	良い	ふつう	良い	はい	依存症に対する心理療法、嗜好品の効果を検討した観察研究、に関するレビュー	色々な領域のレビューグループの紹介をもっとしてほしいかった。	
2014/6/20 10:29	良い	良い	良い	ふつう	ふつう	良い	良い	はい	無痛分娩産褥出血セルセーバーの使用について切迫早産	特に無かったです。	凄く印象的でした。継続して、参加したいとおもいました。
2014/6/20 11:01	良い	良い	ふつう	良い	良い	良い	良い	いいえ		案例を通して、説明していただいたのが良かった。これからも、実例を出していただけたらありがたいです。	
2014/6/20 12:28	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	いいえ		今後ともよろしく願ひ上げる次第であります。	
2014/6/20 13:51	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい		What are the current main pros and cons about Cochrane reviews? Are there examples of any guideline to work with different types of limitations scenarios such as limitation of RCT data or poor quality of existing study trials?	
2014/6/20 16:05	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	周産期分野	2カ月前くらいまでにメーリングリストでお知らせ頂ければ予定を立てやすいのでうれしいです。	森先生がちらっと言われた論文検索のコツ(目次から探す・・・*アスタリスクをつけたら複数名詞も拾ってくるなど)についてコクランレビューの系統講義のなかでセッション(20分くらいで十分だと思います)を設けて欲しいと思いました。
2014/6/20 17:47	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい		講義の内容は非常に分かりやすく、家に帰ってから復習がしやすいです。せっかく最初に自己紹介をしたので、時間的余裕があればグループワークなどがあったら良いと思いました。	2時間という短い時間でしたが、内容が非常に濃く、参加して良かったと思います。また9月にお世話になると思います。どうぞよろしくお願いたします。
2014/6/20 19:36	良い	良い	ふつう	良い	良い	良い	良い	はい		日時のアナウンスはもう少し早めがうれしいです。よろしくお願いたします。	
2014/6/21 20:29	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	(まだ先の話になると思うが)周産期・母子保健分野	特にありません	とてもわかりやすいセミナーでした。プロトコルとレビューのセミナーも楽しみにしています。今回と同じように、先生方の実際の例を踏まえた内容で行っていただけるととてもイメージが湧き、わかりやすいです。
2014/6/22 20:19	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	周産期領域の中で、産科領域では妊娠・早産・CAMあたりに個人的な興味があり、新生児科領域では母子感染・母乳育児あたりに興味があります。まだコクランライブラリーを何も検索していませんので、検索してみてもう少し考えてみます。	特になし	
2014/6/22 22:50	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	clinical psychology	とても勉強になりました。説明もとてもわかりやすく、丁寧で、具体的にどのように登録を進めていけば良いのか、理解することができました。最高な感でした。今後頑張って、コクランレビューに載せてみたいと思います。ありがとうございます。	
2014/6/23 7:00	良い	良い	ふつう	良い	ふつう	ふつう	良い	はい	anesthesia	申し込みの後、参加登録受付の案内が遅く参加可能なか不安であった。当日の最終案内はもう少し情報が欲しい。	
2014/6/23 11:06	良い	良い	良い	良い	ふつう	ふつう	良い	はい	以下に關係するものに興味があります・無痛分娩・分娩誘発および促進でのオキシトシン使用	特に、問題は感じませんでした。	今後、コクラン系統的レビューを試みたいのですが、来年度2月のワークショップに参加できない可能性があります。その場合はどのようにしたらよいかと考えています。
2014/6/23 11:13	良い	良い	良い	良い	ふつう	良い	良い	はい	周産期と循環器の協働が必要な分野	資料が事前配布されているとよいと思います。	
2014/6/25 16:17	良い	良い	ふつう	良い	良い	ふつう	良い	はい	特に特定の希望・えり好みはありませんが、自身の経験上、耳鼻科領域、救急・集中治療領域。	特に運営面でも違和感は感じなかったです。	ありがとうございました。

【アンケート】コクラン日本支部 プロトコルワークショップ

ワークショップへご参加いただきありがとうございます。皆様のお声を反映させ、今後のより良いワークショップの運営に努めてまいりたいと考えております。ぜひとも下記のアンケートにご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

*必須

今回のセミナーはいかがでしたか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

役に立ちましたか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

講師の説明の速さはいかがでしたか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

内容はわかり易かったですか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

配布された資料はわかり易かったですか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

良く準備されていたと思いますか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

総体的にご満足いただけましたか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

今後コクラン系統的レビューの著者として参加を希望されますか？ *

- はい
- いいえ

どのような分野、またはタイトルを希望していますか？


今後の改善点についてご意見を聞かせてください。*

(告知方法、事前のご案内、プログラム、配布資料、会場のセッティング、音響など)

その他、ご希望やご質問などありましたら教えてください。

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

Powered by
 Google Forms

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

[不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [追加規約](#)

タイムスタンプ	今回のセミナーは良かったか？	役に立ちましたか？	講師の説明の速さは良かったか？	内容はわかり易かったですか？	配布された資料はわかり易かったですか？	良く準備されていたと思いますか？	総体的にご満足いただけましたか？	今後コクラシステムレビューの審者として参加を希望されますか？	どのような分野、またはタイトルを希望していますか？	今後の改善についてご意見を聞かせてください。	その他、ご希望や質問などありましたら教えてください。	
2014/9/5 18:10	良い	良い	ふつう	良い	良い	良い	良い	はい	妊娠、出産	配布資料を電子媒体にしていただけで管理に助かります。		
2014/9/5 18:11	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	新生児感染症	特に何処かの問題なく、快適に過ごさせていただけました。		
2014/9/5 18:33	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	周産期分野	・検索の時に、検索画面が見えなかった。最初は虫眼鏡機能を使用してくれたが、その後よくわからなくなった。検索自体も、短時間で説明も早かったので、理解できない部分があった。授業中の検索課題の回答例として、検索式を示したプリントが最後にあると、授業中内容についていけなくなっても、振り返って理解が出来るので良いと思う。	・iPadの貸し出し、昼食がありました。	
2014/9/5 18:56	良い	良い	良い	良い	良い	ふつう	良い	はい	Evidence based clinical practice in nursingの関連で、何かできないかと考えていますが、まだほとんど手はつけておらず、詳細に詰めていません。	初日の前半の講義で、実際の具体的な事例や、贈りやすいピットフォールなどのお話も、ぜひもっと含めて頂いてもよいかと思いました！	とても有意義な時間を過ごすことができました。グループワークのおかげで、参加者の方々ともお話しするきっかけができましたし、昼食の形式もとてもよかったです。ありがとうございました。	
2014/9/5 18:59	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい		事前にプログラムをお送りいただいていたのですが、できれば直前に同じものでもよいのでメールアドレスがあるといいと思いました。	このようなセミナーが全国で行われるといいと思います。	
2014/9/5 19:38	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	文献検索の方法	特にありません。		
2014/9/5 19:42	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	Neonatology 現在、Branched-chain amino acids for enteral nutrition in neonates という vacant title で registration すべて審議中です	特に不便を感じませんでした		
2014/9/5 19:44	良い	良い	ふつう	ふつう	良い	良い	良い	はい		ネット環境がもう少し早まるとやりやすかったです。	非常に勉強になりました。ありがとうございました。	
2014/9/5 23:19	良い	良い	ふつう	良い	良い	良い	良い	はい		特にありません		
2014/9/5 23:41	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	妊娠出産分野	実際に検索を行う場合など、ユーザーの方がもう少し多いとよりよいと感じました。	文献検索について、とても分かり易く、すぐに実践につながるスキルを教えてくださいました。また、コーヒーやおかし、美味しい昼食、カラーで見やすい資料を準備下さり、心より御礼申し上げます。森先生をはじめ、会場を準備して下さいいただきありがとうございます。コクラランジェジュを畫きたい、もっと日本の中で広めたいと強く思わせてもらえた先生方のご講義でした。頂いたお時間の分貢献できるように、コクラランジェジュに審者として関わりたいです。ありがとうございました。	
2014/9/6 0:05	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	耳鼻科領域ほか	特にありません。	文献検索の講義、実習が大変勉強になりました。ありがとうございました。	
2014/9/6 9:17	良い	良い	ふつう	良い	良い	ふつう	良い	いいえ	・系統的検索（特に、看護分野） ・コクラレビューの統計部分の記入方法	検索の演習時に、前の画面の講師の方の入力された文字や検索式の履歴が小さくて見えにくかったので、難しかったです。検索履歴が小さくて見えにくかったらと思います。	このたびはとても有意義なワークショップに参加させていただきました。ありがとうございます。	
2014/9/6 10:19	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	いいえ	分野の研究蓄積がさほど多くなく、また、英語に自信がなく、実践には内科分野では多くの領域がされているので少し視点を変えて考えないとタイトル登録は難しいのでしょうか。できれば一度、タイトル登録されているテーマのreview memberに参加したい。	1日目のスケジュールと2日目のスケジュールの配分を再度検討していただけたときに良いのではないかと。2日目のアイパットを貸していただけると、自分の手持ちのパソコンから入った方が、時間短縮ができるのではないかと。シナール等の、上級操作手法方法を伺ったのだが、情報の割合で聞けな語ったことが残念。	内容的には非常に有意義で高なるワークショップでした。コクラの理念が素晴らしい、研究のあり方を考える良いワークショップでした。コクラランジェジュも、いつか、早い時期に行ってみたいと思います。コクラランジェジュグループに患者代表が入るのには非常に素晴らしいと思います。貴重な機会を与えてくださり、まことにありがとうございました。	
2014/9/6 10:45	良い	良い	ふつう	良い	良い	良い	良い	はい	自分の専門の腎臓・膠原病分野でのタイトルを希望しているが、実際には内科分野では多くの領域がされているので少し視点を変えて考えないとタイトル登録は難しいのでしょうか。できれば一度、タイトル登録されているテーマのreview memberに参加したい。	プログラムも良かったです。困ることではないですが、あえて言うならばiPadの接続スピードが遅かったので、PCで自分のwifiで接続しました。食事まで用意していただき、感謝しております。	次回のワークショップも是非参加したいです。reviewに参加したいので、具体的に話させていただけると嬉しいです。	
2014/9/6 12:50	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	いいえ		大変勉強になりました。ありがとうございました。文献検索は、OVIDは契約等にかかわらず、利用できない場合もあるため、freeのPubMedを取り上げていただけました。		

2014/9/7 14:18	良い	良い	ふつう	ふつう	ふつう	ふつう	ふつう	いいえ	来年度以降であれば、出生前診断受け入れるのための環境整備 小児在宅医療 小児患者のトランジションについて行いたいと考えています。	文献検索についての考え方は理解できたと考えるが演習の進め方に際して最初は皆で行うとか考え方を改善していただきたい	
2014/9/7 15:03	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	薬物療法に関する分野	改善点は特にありません。強いて言うなら、グループワークがもっとあると良いと思いました。	2日間、非常に充実した内容で勉強になりました。タイトル取れるよう頑張ります。どうぞよろしく願います。
2014/9/7 23:36	良い	良い	良い	ふつう	良い	良い	良い	はい	まだ十分に構築をしていないのですが、小児がんの症状マネジメント、シミュレーション教育効果測定などで登録できればと考えております。	特にありませんでした。	貴重な機会を設けていただき、ありがとうございます。コクランはなんとなくハードルが高そうな印象を持っていましたが、システムティックレビューであるとお教えいただき、具体的な執筆の詳細にまで触れていただけましたので、2日間で理解を進めることができました。ありがとうございます。
2014/9/8 9:07	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	メタ解析	特にございません	
2014/9/8 9:36	良い	良い	ふつう	ふつう	良い	良い	良い	いいえ		コクランのワークショップは色々な内容があるようですが、どんな種類があるのか、宿敵できる資料がどこかにあれば良いと思います	
2014/9/8 11:00	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	いいえ		少し時間が足りなかったように思います。大変役立つ内容だったので、実習の最後までたどり着けなかったのが残念です。	
2014/9/9 10:19	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい		改善点というわけではないのですが…自分のWiFiを使えない人はiPad貸出希望の申請をするように、という文章がプログラムに入っていないため読み飛ばしてしまいあわててしまいました（お借りできたので、よかったです）。	病院で可審をしております。医学情報サービス研究大会にてちらしをいただき参加しました。たいへん有意義な時間を過ごさせていただきありがとうございます。日頃接する機会のない研究者のかたともお話しさせていただきます。他の病院可審のメーリングリストにも、このようなセミナーの宣伝をしてもよろしいでしょうか。
2014/9/9 10:58	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	いいえ	コクラン系統的レビューの審査をサポートする図書館員対象の講座を希望します。また、看護学、疫学、臨床医学など、分野別の検索講義があれば興味深いです。	今回は、二日目のチラシを偶然目にしたことで参加することができましたが、一日目の情報をWeb上で探しても見つけることができませんでした。Web上にもご案内いただけると助かります。	

【アンケート】コクラン日本支部 フルレビューワークショップ

ワークショップへご参加いただきありがとうございます。皆様のお声を反映させ、今後のより良いワークショップの運営に努めてまいりたいと考えております。ぜひとも下記のアンケートにご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

*必須

今回のセミナーはいかがでしたか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

役に立ちましたか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

講師の説明の速さはいかがでしたか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

内容はわかり易かったですか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

配布された資料はわかり易かったですか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

良く準備されていたと思いますか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

総体的にご満足いただけましたか？ *

- 悪い
- ふつう
- 良い

今後コクラン系統的レビューの著者として参加を希望されますか？ *

- はい
- いいえ

どのような分野、またはタイトルを希望していますか？

今後の改善点についてご意見を聞かせてください。*

(告知方法、事前のご案内、プログラム、配布資料、会場のセッティング、音響など)

その他、ご希望やご質問などありましたら教えてください。

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

Powered by
 Google Forms

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

[不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [追加規約](#)

タイムスタンプ	今回のセミナーは良かったか？	役に立ちましたか？	講師の説明の速さはいかがでしたか？	内容はわかり易かったですか？	配布された資料はわかり易かったですか？	良く準備されていたと思いますか？	総体的にご満足いただけましたか？	今後コクラン系統的レビューの著者として参加を希望されますか？	どのような分野、またはタイトルを希望していますか？	今後の改善点についてご意見を聞かせてください。	その他、ご希望や質問などありましたら教えてください。
2015/2/6 18:59	ふつう	良い	ふつう	ふつう	ふつう	悪い	良い	はい		グループワークのときに、担当のチューターの先生が進め方など理解されていないと思われる場面が多々ありました。	
2015/2/6 19:07	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい		特にありません。	自分でもできるかもしれない、と真気ももたらした気がします。主催関係者の皆様、どうもありがとうございました。
2015/2/6 19:17	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい		可能でしたら、テーマを1つ設定し(講師の方が以前行われたreviewなどを題材に)、studyの選択→metaanalysis→gradeの評価→本文の作成のように、case study的に学習できると、さらに理解しやすいのかもしれないように思いました。(現業的にはなかなか難しいのかもしれませんが...)	非常に勉強になりました。ご準備・運営等に大変な労力を割いてくださり、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。 (千葉大学 三浦園子)
2015/2/6 19:20	良い	良い	ふつう	良い	良い	良い	良い	はい	周産期ケア	配布資料に別途、実際のパソコン画面を入れた手順のものがあると大変ありがたいなと思いました。	実際手を動かしてできたので、とても勉強になり、レビューが書けそうな気がしてきました。他分野の方とも色々お話ができてよかったです。ありがとうございました。
2015/2/6 19:23	良い	良い	ふつう	良い	良い	良い	良い	はい	地域包括ケア	配布資料を電子データでいただけると嬉しい。荷物が増えるため。	実習が多かったので、システムの使い方をよく理解できた。
2015/2/6 19:53	良い	良い	良い	良い	良い	ふつう	良い	はい	・分野：リハビリテーション、循環器、呼吸器、救命 ・タイトル： 『補助人工心臓装着患者に対するリハビリテーションの効果』 『ICU患者に対する早期リハビリテーションの効果』 など	ワークショップ形式の講義だと通常の講義と比較して質問が多くなるため、予定より時間が延長することが多いと思います。それを見越して、休憩時間を長めに取って紙尿を含ませるようにした方が良く感じました。	食事やブレイクタイムでのコーヒーなど、快適に講義を受けることが出来て非常に満足しています。これも運営の先生方のおかげと感謝しております。今後ともよろしくお願ひ致します。
2015/2/6 20:15	良い	ふつう	ふつう	良い	良い	良い	良い	はい		なし	
2015/2/6 20:31	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	救急医療分野 タイトルはまだ未定です。	グループ分けのメンバー資料があると嬉しいです。	
2015/2/6 20:42	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	小児神経(てんかん、脳炎・脳症) 小児精神(発達障害、知的障害、行動障害、不登校、虐待、虐待被害、身体表現性障害) 小児心身症、代替医療・栄養療法 小児画像関連	大変行き届いておりましたので、満足しております。	今回はとても勉強になりました、どうもありがとうございます。第一月曜日にオープンにされているとお聞きしましたが、リサーチエッセイの立案の段階からでもご相談に伺ってよろしいでしょうか？今後勉強の機会が得られましたら大変ありがたいです。よろしくお願ひ申し上げます。
2015/2/6 21:01	良い	良い	良い	良い	良い	ふつう	良い	はい		特にありません	
2015/2/6 22:20	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	歯科	できればもう少し早い時期に案内があると予定をあげやすかったです。	
2015/2/7 8:37	良い	良い	ふつう	良い	ふつう	ふつう	良い	はい	緩和ケアの分野で、緩和ケア病棟、ホスピスの入院等緩和ケア介入に関する社会的因子	特にございませんが、可能でしたら当日の事前案内がもう少し早めに頂けると安心です。	
2015/2/7 9:27	良い	良い	ふつう	良い	良い	ふつう	良い	はい			
2015/2/7 10:03	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	診断精度に関する研究	前日にメール送付頂いた事前資料の件ですが、関西からですと前日には出発していることが多いため、印刷がもし必要な場合はプリンターなどが利用できず、困る事があります。(今回は問題になりませんでした)	
2015/2/7 11:06	良い	良い	良い	良い	ふつう	ふつう	良い	はい	栄養分野	配布資料の關してですが、演習をすすめるうえで、どこかの画面のひろげて、何処をクリックするののREMAINとFoodの作業手順が手元の資料としてあったほうが、理解が深まります。そのほうが実習者の理解と満足度も上がるかと思いました。実際、実習をすすめるうえで効率的かとの印象を受けました。はじめてソフトを使用する者にとっては、作業をすすめるうえで、何処をクリックすれば良いのかというフローチャートの手順書があると、大変助かります。	
2015/2/8 8:45	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	救急医学、集中治療。「ARDSにおけるステロイド治療」、「心臓停止蘇生後の低体温療法」など	とくにございません。	

2015/2/8 19:10	ふつう	良い	ふつう	悪い	ふつう	ふつう	ふつう	はい		コクランで統一されたワークショップのマニュアルを使用したと思うのですが、もう少し講師が噛み砕いて教えてくれないと初めてレビューを書く人にはわかりにくいと思います。	
2015/2/9 10:10	良い	良い	良い	ふつう	良い	良い	良い	はい	分野：緩和ケア、リハビリテーション タイトル：緩和ケアにおけるリハビリテーション、プライマリケアにおけるリハビリテーション、がん以外の緩和ケアにおけるリハビリテーション	今回で3回目の参加をさせて頂きました。今回、それぞれ感謝を受け、満足感しております。今回初めて感じましたのは、コクランのオーサーになるまでには複数の段階があり、各々のワークショップが、どの段階を対象としたものが、という全体像の中の位置づけについて、わかることもとよくなると感じました。今回は色々とお褒め頂きましたので、やってみなければ分からない、ということが理解できました。	森先生、太田先生をはじめ、チューターの先生方には、初心者を受け入れてくださいましたこと、また、そのようなワークショップに参加させておられる管様に感謝を申し上げます。是非とも地元の手業でもワークショップを開催できるまでになりますよう、努力したい存じます。今回、ようやく緩和ケアの仲間ができました。登録可能なタイトルが見つかりましたら、専門家、経験者の先生を御紹介くださいますようお願い致します。
2015/2/9 10:38	良い	ふつう	ふつう	ふつう	ふつう	ふつう	ふつう	はい	Pregnancy and Childbirth Infectious Diseases	The need for more directive signs outside the building and posters advertising the event could be placed on the general notice board. A lot of people are interested but I don't think they know about the existence of the program.	I anticipate a time when workshops will be delivered in two parts- the all-English and all-Japanese, after-all the review manager and grade profile soft-wares are all in English. That aside, it was a well organised event and free too.Thanks.
2015/2/9 16:09	良い	良い	ふつう	ふつう	良い	ふつう	良い	はい		Risk of biasの説明時間が短かったのと、演習の時間をもう少し長くしてもらえると、より理解できると思う。	
2015/2/9 18:59	ふつう	ふつう	ふつう	良い	良い	ふつう	ふつう	はい		準備や運営、お疲れ様です。大変刺激を受けました。下記コメントです。統計の基礎知識は持っているという前提で講義はなくても良いように思いました。どのみち1~2時間で理解できるような内容ではないと思います。一方、risk of biasの評価方法の実習は、より時間をかけて行った方が良いように思いました。	
2015/2/10 12:25	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	はい	メンタルヘルスで考えています。まだレビューがでない分野の心理療法の介入効果を探しています。	特にありません。	いつも大変勉強になるセミナーをありがとうございます！
2015/2/10 12:45	良い	良い	ふつう	ふつう	ふつう	良い	良い	はい	進行がん患者の症状緩和に関するもので安倍先生と一緒に取り組んでいこうと考えております。	risk of biasやsummary of findingsの1つ1つの評価の仕方をもっと詳しく知りたいと感じましたが、実際に行っていく中で身に着けていくものなのかもしれないとも思っております。	ご多忙のところ、大変ありがとうございます。大変勉強になりました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。